



2015・2・1

第 198 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

先制的反対世論で閣議決定の具体化阻止！

全国討論集会の成功へ

安倍首相は、昨年7月の閣議決定を具体化するための関連法案や、自衛隊をいつでもどこへでも派兵できる自衛隊海外派兵恒久法案、在外邦人救出のための法案等、自衛隊の海外での武力行使をさまざまな面から解禁する法案を統一地方選挙後の国会に提出することを繰り返し言明しています。そのため、自民、公明の与党協議も2月から開始することが報じられています。

こうした動きにたいし草の根からの反対の世論を盛り上げるため、各地の九条の会が出足の早い取り組みを開始し、3月の「全国集会」の成功を次の飛躍へのステップとすることが求められています。

地方議会で慎重・反対決議可決

【新潟県9条の会】 新潟県9条の会は1月17日、全県交流集会を開き90人が参加しました。

魚沼九条の会からは、昨年6月の市議会で会が提出した集団的自衛権行使容認にたいし慎重な対応を求める意見書が18対1で

九条の会呼びかけ人

奥平康弘さん死去

九条の会呼びかけ人のひとりで憲法学者の奥平康弘さんが1月26日、急性筋梗塞のため死去されました。85歳でした。

奥平さんは、九条の会呼びかけ人9人のなかで唯一人の憲法学者として、呼びかけ人会議や九条の主催の全国講演会や全国交流集会などには欠かさず出席し、憲法学の面からのするどい見解を示されていました。亡くなる直前の25日にも、地元調布市の九条の会の「コーラスとトークの集い」(別項)で熱弁をふるわれていました。

九条の会としては後日、「志をつぐつどい」を開く予定です。

可決されたことが報告され、その背景には保守系議員の紹介や、保守系議員とつなが

りのある会の代表の存在があり、「9条を守る一点で力を合わせる」ことの重要性を強調しました。

阿賀野市9条の会からも、昨年の集団的自衛権行使容認反対の意見書可決、会独自のポスターや全戸ビラに取り組んだ経験が報告され、今年は全戸への署名運動に取り組む決意が表明されました。

他の会からも、「憲法記念日に取り組んでいる意見広告の賛同者は昨年の1800人を上回りたい」（三条市）、「青年の何かしたいという気持ちを結集し、楽しく気軽に参加できる会にし、早く正式結成したい」（青年9条の会準備会）などの報告がありました。

市民参加の合唱団でもりあげ

【東京・調布九条の会】 「調布九条の会『憲法ひろば』」は1月25日、創立10周年記念「池辺晋一郎さんと平和を歌おうコーラスとトークの集い」を開催しました。

第1部の鼎談「九条と私」では3人の発言者がいずれも「イスラム国」人質事件に言及し、池辺晋一郎さんが「集団的自衛権行使容認などで日本は9条に逆行して危うい所に追いやられている」と語り、憲法研究者の奥平康弘さんが「日本は世界から見て戦争への道をすすんでいるのに、安倍首相は積極的平和主義を主張する」と述べ、教育研究者の堀尾輝久さんが「拘束されている後藤さんの母親が日本には憲法9条があり70年戦争をしてこなかったと訴えていたが、大事なことだ」と述べました。

第2部「合唱」では公募に応じた130人の市民合唱団が、池辺さんらの指揮で、池辺さんが作曲・編曲した歌を披露しました。

九条の会全国討論集会

◇日時 3月15日（日）
午後1時20分～午後5時
◇会場 専修大学神田校舎301教室
（東京都千代田区神保町3-8）

◇内容
・呼びかけ人あいさつ
大江健三郎、澤地久枝
・事務局からの報告／提案
・情勢のとらえ方や取り組みについて
各九条の会の意見交換
◇参加者 全国の地域・職場・分野別九条の会のメンバー（要・事前申し込み。
サイト掲載の申込書を使用）

新年初宣伝で出足早く

【愛媛9条の会】 憲法9条をまもる愛媛県民の会は1月9日、松山市でことし初めての宣伝行動に取り組み、15人が参加し、集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回と立法化反対の署名を51人から集めました。

宣伝行動では、森英二事務局長と共産党、新社会党、ネットワーク市民の窓の代表の4人がリレートークしました。

【青森市・茶屋町の会】 9条を守る茶屋町の会は1月9日、11年目となる新年初の街頭宣伝をおこないました。

115センチの大雪のなか、茶屋町の街角で、保険生協デイサービス9条の会、堤川西9条の会からも参加。9人が横断幕や幟旗を掲げ、門倉昇会長らが、「戦争する国は絶対許されない、『閣議決定』は撤回すべきです」と訴えました。

雪の中、車窓から声援をおくる人たちも。